

あきた未来総合戦略における基本目標ごとの進捗状況について

基本目標1 産業振興による仕事づくり

(1)数値目標及びその達成状況

数値目標	現状値(H26)	目標値(H27)	実績(H27)	達成率(%)	達成度
雇用創出数 平成31年度までに (5か年分の累計) 12,630人	2,175	2,235	(速報値) 2,011	90.0	B

(2)基本目標を構成する施策検証の結果

順調	概ね順調	やや遅れている	遅れている
5	6	1	0

(3)施策ごとの重要業績指標(KPI)の状況

A	B	C	D	なし・未判明
22	10	4	1	8

(4)推進状況

- 地域産業の競争力強化については、航空機産業の製造品出荷額や風力発電導入量等が目標には届かないものの着実に伸びているほか、企業誘致が順調に進み、雇用の創出が図られている。一方で、経済雇用情勢の改善等により、国内の人材獲得競争が激化していることから、Aターン就職者数や県内大学生等の県内就職率は伸び悩んでいる。
- 農林水産業分野については、農業法人の規模拡大や新規就農者の確保などの取組の成果が現れるとともに、園芸メガ団地の整備等による複合型生産構造への転換や、6次産業化の取組などが進みつつある。
- 観光分野については、国民文化祭の開催を契機とした秋田の文化の発信や、ワールドカップモーグル大会の開催などのスポーツを通じた交流人口の拡大など、観光、食、交通、文化、スポーツ等が一体となった施策に取り組んでいるが、他県との厳しい競争の中で、延べ宿泊者数等が伸び悩んでいる。

基本目標2 移住・定住対策

(1)数値目標及びその達成状況

数値目標	現状値(H26)	目標値(H27)	実績(H27)	達成率(%)	達成度
Aターン就職者数 平成31年度に 1,700人	1,061	1,400	1,080	77.1	C
本県への移住者数 平成31年度に 220人	20	60	123	205.0	A

(2)基本目標を構成する施策検証の結果

順調	概ね順調	やや遅れている	遅れている
4	1	1	0

(3)施策ごとの重要業績指標(KPI)の状況

A	B	C	D	なし・未判明
7	4	0	1	5

(4)推進状況

- 移住相談窓口の拡充、多様なメディアを活用した移住情報の発信、移住者受入体制の整備など、移住者のニーズを踏まえたきめ細かな取組により、移住者は大幅に増加している。
- 多様なツールを利用した情報発信等により、Aターン登録者数は増加しているものの、経済雇用情勢の改善等による国内の人材獲得競争の激化の影響でAターン就職者数は伸び悩んでいる。
- 県内高卒者の県内大学進学率は伸びているが、さらに、県外進学者の県内回帰を進めるため、県外大学生を対象に秋田の暮らしや企業に関連するセミナー等を行ったほか、県内外の大学生の県内就職を促進するため、奨学金返還助成制度を創設した。

基本目標3 少子化対策

(1)数値目標及びその達成状況

数値目標	現状値(H26)	目標値(H27)	実績(H27)	達成率(%)	達成度
婚姻数 平成31年に 4,020件	3,842	4,020	3,613	89.9	B
合計特殊出生率 平成31年に 1.50	1.34	1.39	1.38	99.3	B

(2)基本目標を構成する施策検証の結果

順調	概ね順調	やや遅れている	遅れている
3	2	0	0

(3)施策ごとの重要業績指標(KPI)の状況

A	B	C	D	なし・未判明
10	1	0	0	2

(4)推進状況

- 合計特殊出生率は、3年ぶりに改善し、前年に比べ0.04上昇している。
- 脱少子化モデル企業数や次世代法に基づく一般事業主行動計画策定件数等が増加しており、仕事と子育てを両立できる環境づくりが進んでいる。
- あきた結婚支援センターにおける成婚報告者数は着実に増加しているものの、全国と同様に適齢期人口の減少により、全体の婚姻数は減っている。
- 子育て世帯の経済的負担の軽減を図るため、平成28年度からの保育料・医療費助成の拡充に向けて取り組むとともに、子育て世帯への住宅支援や多子世帯向け奨学金などの制度を創設した。

基本目標4 新たな地域社会の形成

(1)数値目標及びその達成状況

数値目標	現状値(H26)	目標値(H27)	実績(H27)	達成率(%)	達成度
「住んでいる地域が住みやすい」と思っている人の割合 平成31年度に 80%	—	60	77.6	129.3	A
社会活動・地域活動に参加した人の割合 平成31年度に 68.0%	46.4	52.0	44.1	84.8	B

(2)基本目標を構成する施策検証の結果

順調	概ね順調	やや遅れている	遅れている
1	4	0	0

(3)施策ごとの重要業績指標(KPI)の状況

A	B	C	D	なし・未判明
15	3	0	0	3

(4)推進状況

- 県と市町村が一体となって推進する未来づくり協働プログラムについては、25市町村全てにおいて策定され、地域活性化に向けた取組が進んでいる。
- 地域コミュニティの再構築については、地域課題解決のためのトライアル事業の実施やお互いさまスーパーの設置などに加え、シニア人材の発掘と地域ニーズとのマッチングを図るなど、着実に進展している。
- 男女イキイキ職場宣言事業所が増加しているほか、女性活躍推進法に基づく行動計画の策定に取り組む事業所(300人以下)も見られるなど、女性が活躍できる環境づくりが進んでいる。また、地域貢献活動を行う若者団体が増加しているなど、若者団体の育成、ネットワーク化が図られている。
- 安全安心な暮らしを守る環境づくりとして、雪対策に取り組む共助組織が順調に増加しているほか、長寿命化計画策定や生活排水処理の広域共同化に係る取組が順調に進んでいる。また、CCRCの導入によるまちづくりに向けた具体的な取組も出てきている。